

うちゅうせん新聞

広報係 09年12月26日発行 3号

仙台市天文ボランティア会報

例会より 場所：天文台研修室

9月26日(土) 14:00~16:00 出席者12名

観望会出欠、広報から(うちゅうせん新聞発行)、年間パスポート等について話し合われました。

えぼしスキー場での観望会は、船長と近藤さんで分担を決めて実施すること、今年は曇天バージョンも行う予定であることを確認しました。

10月10日(土) 14:00~16:00 出席者5名

参加者が5名と、近頃でない人数の少ない例会になりました。西公園の時代の金曜日の例会を思い出していました。

観望会の予定が多く入ってきており、船長がメンバーリストで、参加者を募ることになりました。

11月28日(土)14:00~15:40 出席者9名

10月の12回の観望会完了についての概要報告と、12月と1月にそれぞれ2回予定されている観望会の出欠希望について確認しました。

また、天文台年間パスポート補助についての条件、忘年会、新年会は行わず、3月の全体会でまとめて実施、近況報告などの順で話し合いが行われました。

私事ですが日暮れの早いこの頃、この日も雲が多く星空は望めそうもないと割り切り早めに帰宅しましたが、長命が丘観望会参加の皆さんお疲れ様でした。

2009.10月 観望会スケッチ



10月3日(/) みやぎ蔵王えぼしスキー場
10月24日() 亘理町図書館

世界天文年とされた2009年もついに終わりとなります。世界天文年の活動による成果を更に発展させるべく、来年の活動を計画し、取り組んでいきましょう。

観望会より

小牛田高等学園・観望会 9月24日(木)19:00~20:00(うちゅうせん2名、参加者27名)

今回が4年目ですが、見られたのは初年度だけ。女学生(3年)が3年目で初めて星を見る事が出来た!って喜んでいたので嬉しかったな~。

挨拶の後、すぐに外へ出て貰い、上弦二日前の月を見、その後天の川こそ確認出来ないものの、秋の星座ペガサスから西空の春の星座うしかい座のアークトゥールスまで綺麗に見えましたので、レーザーポインターで星座めぐりをし、最後に木星を見て室内に戻りました。

戻ったところで終了予定の19時まで数分しか有りませんでした。最大延長は何処までOKでしょうか?と打診したところ19時40分までという事になりました。

北斗七星と南斗六星を見たばかり・という事で、星座物語は「星の仙人」にしました。

最後に日食のスライドを見てもらいました。終了前に質問コーナーをしました。木星は何で出来ている?の質問が1つでした。

太白中央市民センター「ながまち星空探検隊」9月26日(土)19:00~20:15(うちゅうせん5名、参加者40名)

3Fの会議室で自己紹介の後、5Fの屋上に移動し、上弦の月と木星を4台の望遠鏡で見ました。18時30分頃から天頂を飛ぶ国際宇宙ステーション(ISS)も見れて、最高の観望会となりました。今回は仙台市環境局環境都市推進課経由の依頼であり、杜々環境プログラム「光害」に付いての説明も・屋上から見る事の出来た天体は月・木星・ペガ・アークトゥールス・アルタイル・デネブと1等級以上のみ。長町地区の空の明るさ加減は今夜の観望会を通して全員が確認するところとなりました。室内に戻ってからは、ISSや月までの距離と周期に付いて解説し、星座物語(オリオンとさそり)、光害についての説明。残り15分質問コーナー。ちびっ子からこれでもかという位の質問がありました。知るうとする気持ちが嬉しいですね!

六郷市民センター観望会 10月3日(土)19:30~20:10(うちゅうせん3名、参加者60名)

昨年に引き続いての依頼で中秋の名月前夜の月と木星を見る予定でしたが、午後からの雨で、室内のみとなりました。

月見どろぼう・コマ作り・お茶席・読み聞かせ・月見団子と内容は盛り沢山でうちゅうせんの出番は19:30からの40分間でした。自己紹介、星座物語、スライドで日食の話をお願いしました。

低学年生が多かったにも拘らず、星座物語も日食も熱心に見聞きしていました。

七郷市民センター観望会 10月17日(土)18:00~19:30(うちゅうせん3名、参加者39名)

現地到着時までは木星が見えていたのですが、みるみる雲が広がり開始時には空全体が雲で覆われてしまいました。

体育館での挨拶、自己紹介のあと、今月の星空を説明、解説している途中で外の見張り番より



「木星が見え始めました」の報告があり、急遽外へ。望遠鏡2台で木星を観望、また夏の大三角を説明。全員が木星を観望した時点でまた中へ入り、今月の星空の続き、星座物語、日食の話、星座ビンゴ、と進み終了しました。木星のみの観望でしたが、実物の木星が見れ、室内の催しとフルバージョンの観望会でした。ビンゴの賞品は星座カード、お土産にシールと写真をお渡ししてお帰りいただきました。

東松島(2回目 小野小&浜市小)観望会 10月22日(木)18:30~20:00(うちゅうせん4名、参加者60名)

松島自然の家での観望会で、これだけ晴れたのは記憶に無い位で、微かにではありましたが天の川が確認できました。室内で挨拶・自己紹介の後、今月の星空の説明(斉藤)、望遠鏡を見る時の約束をして室外へ。最初にレーザーポインターで星空の説明をしてから3台の望遠鏡で木星、コルギ、アルビオを見ました。

再度室内に戻り、星座物語、スライド・最後に質問コーナーで終了となりました。今日で東松島市の2回目が終了・残りは来週2回と来月の2回です。



亘理町図書館 観望会 10月24日(土)18:30~20:30(うちゅうせん5名、参加者90名)

昨日までの晴天は、夢か幻だったか?残念ながら、曇天バージョンでの望遠鏡制作&観望会となりました。以下、順を追って、実施内容を報告します。

1)図書館側のご挨拶、当方の自己紹介

2)望遠鏡制作

これが大変でして・・・お父さんと男の子の親子は、あっという間に組み立てますが、お母さんと女の子の母娘ですと、母娘で「???」という感じで、なかなか進みません。プラモデルとか作ったことのないですから、組み立て図を見ても「???」なのです。全員完成する迄に1時間近くかかりました。

3)星座物語(担当:西口)

秋の定番、「鎖につなされたお姫様」でしたが、皆さんじっくり聞いていました。

4)今月の星空(担当:渡辺(利))

渡辺氏は、初めての出演(?)でしたが、落ち着いて丁寧に説明していました。

5)遠藤氏オンステージ(担当:遠藤)

星砂のプレゼントあり、隕石(隕鉄)の公開あり、反射望遠鏡の説明あり・・・と、盛り沢山の内容で、笑いにつつまれ、ウケていました。

6)自動導入の実演(担当:齋藤)

今は、こんな望遠鏡もあるよ・・・程度のデモンストラクションでした。クランプを忘れて、動きが不完全だったのは反省。

7)質問コーナー(担当:渡辺(聡))

少々、早めに終了しても良いかな?と思い、早めに始めましたが、何と終了時間まで30分も続きました。まあ、皆さん、望遠鏡を作ったばかりなので、「土星はいつ見えますか?」とか「金星はいつ・・・」のような質問が多かったです。

中には天文マニアも、びっくりのような質問もあり、皆で四苦八苦(笑)しながら回答しました。

東松島(4回目・大曲小)観望会 10月29日(木)18:30~20:00(うちゅうせん4名、参加者84名)

22、27日、今回と3回連続で晴れました。夏場に比べると晴天率がぐんと上がってきました。

挨拶、今月の星空説明(斉藤)の後室外に・・・大小5台の望遠鏡で月齢11の月と木星を見て貰いましたが、全員が5台全部見たところで室内に戻り、「オリオンとさそり」を見、最後7分ほどでしたが、質問コーナーの時間をとることが出来ました。見えは良かったものの湿気が多く機材がぬれました。

その他の観望会「えぼし星空さんぽ」報告

10月土曜の夜5回実施中、星を見れた2回の模様

10/3(土)第1回目 19:30 集合で 20:00 開始の予定。現地に向かっている時はきれいな月と木星が見られていたのですが、さすがは山の天気、現地到着の19:00頃にはどちらも雲の中でした。今年は見られなくても、ゴンドラで上までの『空中さんぽ』を楽しんで夜景を見て貰う事になっていましたので全員で展望デッキに。

上では雲間から時折木星が顔をみせ、その木星を望遠鏡2台で観望。フィールドスコープ2台で仙台などの夜景を見て貰いました。

20:30 ころに「そろそろ下山しましょうか?」の問いかけに、もう少しで雲が切れ月を見れそうな気配のため誰も返事なし、期待を込めて雲とにらめっこです。しばらくして願いが通じたのか雲が切れ、きれいな14.7の月が見られ、木星もはっきり、夏の大三角やフォーマルハウトも・・・後半には望遠鏡のお月見の月をデジカメや携帯で撮影。極めつけは接眼部をはずし一眼レンズカメラのレンズをはずして手持ち直焦点撮影まで。気がついたときには終了時間を大幅に超えた21:30になっていました。反省点として、去年はしっかりした赤道儀でしたが、今回は見が期待薄でしたので簡易経緯台を持って上がったのですが、観測場所がデッキなのでみんなの歩く振動が増幅されたようで望遠鏡の中で像が踊りを踊っていて、倍率を上げられず・・・もっと大きな木星を見てもらいたかったです。

10/31(土)第5回目 えぼしスキー場につく手前から5m先も見えない程の濃霧になり、下界も全面雲でお客さんがいるのだろうか?と不安になる天候でしたが、集合時間には結構な人数の方々!

一応全員ゴンドラで山の上へ。高度が上がるにつれて霧がうすくなり、展望台に到着時には霧は晴れ、流れる雲間から月・夏の大三角・カペラ・その他などが観望できましたが、残念ながら夜景は無理でした。望遠鏡1台とフィールドスコープで月を観望、レーザーで星座案内をし、みんなが見終わった時点で下山しゴンドラ駅のロビーで今月の星空と月の話を聞いてもらい終了の9:00となりました。

《10/10,10/17,10/24 はいずれも で 見えず》

🔗 うちゅうせん・アーカイブス

1999.2.28 発行 うちゅうせん新聞の始まり?

4/18 例会で旧天文台に保管していたファイル等の処分が行われ一部を除いてほとんど処分されました。その処分資料から当時を振り返るメモリアルコーナーです。

発足2年後、速報という形で新聞が発行されました。内容は観望会の依頼状況と周知、子供からの感想、星空情報など夏の観望会シーズンに月2回発行されたようです。当時は例会後、みんなで折込み、例会の議事録と共に、全て郵送していました。素人の皆で試しながら進めた乗組員のチャレンジ精神が伝わってきます。その頃の事をご存知の方、ぜひ投稿を!



10/14,15 星の村合宿レポート 🔖

天文同好会と合同実施 うちゅうせん：2人参加

田村市滝根村・星の村天文台へはじめて足を運ぶ機会となりました。顔を合わせてもなかなか話をする事の少ない仙台天文同好会のメンバーと語り合う貴重な機会となりました。天気はあいにくの曇天&雨でしたが、大宴会(?)の翌朝、一條氏(同好会)の太陽望遠鏡で観望させて頂いたり、星の村天文台を見学したり後、現地解散。隣接するあぶくま洞等見学して15時頃帰宅しました。 渡辺(利)

伝言板の話題(うちゅうせんホームページ)より

押し掛け観望会 投稿者：船長

投稿日：2009年8月24日(月)

8月3日に実施した「桂パークハウス中央北子供会」の観望会は親子159名もの申し込みが有ったにもかかわらず曇天バージョンだった事は以前の報告の通りですが、今夜は間違いなく晴れそう・と言う事で、リベンジを思いつきました。

子供会・役員の方に午後電話したところ、何人集まるかわからないがお願いします・と言う返事。細い月と木星を楽しんで貰おうと、現場着が18時。

何人の参加になるか?予想も付きませんので、取りあえず望遠鏡を1台設置しているところに数人の親子が見え、青空に浮かぶ三日月から観望です。暗くなるにしたがって綺麗になりますよ、などいしながら見てもらっているうち、どんどん人数が増えて来ました。一通り月を見て貰った後は、木星が見え出すまでは間があったので、一端帰って食事を済ませて来てもらう事にしました。

木星は皮肉にも東側マンションの三角屋根の一番高い所から現れた為、見え出すまで時間がかかりましたが、その頃には集った人数が半端ではなく、望遠鏡をもう一台出す事にし、2台で木星を見てもらいました。

その後、ミザールとアルコルを見、アルビレオを見ておしまいにする事にしました。

正確な参加人数はわかりませんが、100人は超えていたと思われます。

夏休みは明日までだそうですが、星座を見るという宿題がやっと出来たと言いながら説明する夏の大三角を紙に書いている4年生も3人ほどいました。良かったネ!

2台の望遠鏡の撤収が終わったのが20:30。これだけ大勢の方に喜んでもらえた観望会も久々でしたが、これもお天気のなせる業です。星を好きになってくれた親子が何人かでもいてくれたら言う事無しなんですけど・・・

編集後記

11月の例会で近況報告での話題は天候不順と新型インフルエンザによる観望会中止など・・・。私も同様に参加予定のはずがなくなったり、我が家の感染で自粛するなど影響を受けました。他に10月、11月の流星群が悪天候で見れなかったとの話がありましたが、秋の夜長は眠りを誘い布団から抜け出せず、見逃してしまったので皆さんの話を聴きながら内心ほっとしていました。来年こそはとりベンジを誓いたいです。(辺)

今年も12月に入って雪が降らず、それ程寒くない日が続いています。雪が降るのを待ち遠しく思っています。(今)

先日、出張でカンボジアのアンコールワットへ行ってきました。外気温は35。乾期でもあり、快適な暑さでしたが、朝日に映えるアンコール遺跡の西の空に沈もうとする満月がとても印象的でした。しかし、帰国後仙台での本格的な寒さにブルブルです。みなさんくれぐれもインフルエンザ気をつけて下さい。(辺パート2)

今年のえぼしスキー場の観望会は、2回とも曇天バージョンでした。しかもすごい濃霧と雨・・・。でも参加者が多く曇天バージョンを楽しんでもらいました。みなさん関心が高く驚いています。今年もできる範囲で観望会に参加し、楽しく活動できたように思います。広報は渡辺さんに苦勞ばかりかけてしまいました。来年も活動楽しみにしています。(石)

2009年今年是世界天文年だった。

イタリアの科学者、ガリレオ・ガリレイが天文観測をしてから400年。

私も「世界天文年参加証明書」を頂いた。いつもの事をしただけなのに、

こういった物を頂くとやはりうれしい。

宇宙への扉は来年も開こうと思う。(伊)



活動記録として、伝言板から記事を転載させていただき今年も3号無事発行できました。

協力に感謝いたします。皆さんすばらしい新年をお迎え下さい。広報係